



新京成

# のんびり！おでかけ途中下車



VOL. 3 2006.05

発行 新京成電鉄株式会社 鉄道本部 運輸部 営業課  
http://www.shinkeisei.co.jp/

## 松戸

上本郷

松戸新田

みのり台

八柱

常盤平

五香

元山

くぬぎ山

北初富

新鎌ヶ谷

初富

鎌ヶ谷大仏

二和向台

三咲

滝不動

高根公園

高根木戸

北習志野

習志野

薬園台

前原

新津田沼

京成津田沼

こちらのしばられ地蔵尊は、業平山東泉寺南蔵院と称し今から約600年前の貞和4年頃に林能法師によって開創されたと言われている。

境内の地蔵堂に安置されている「しばられ地蔵」は、昭和4年旧日本所中之郷（現在の墨田区吾妻橋三丁目）より、寺と共にこの地に移転してきました。享保年間、八代將軍徳川吉宗の時代に、日本橋の呉服問屋の手代が大八車で反物を運んでいたとき、業平橋（墨田区）近くの南蔵院の門前で一休みをしたところ、目が覚めると反物を乗せた大八車が無いことに気づきました。慌てた手代が番所に訴え、取り調べに当たった名奉行大岡越前守忠相が「反物が盗まれたのを見逃すことは門前の地蔵も同罪である。縄打つて引立てて参れ」と命じました。地蔵さんは縄でぐるぐる巻かれて大八車に乗せられ

### 南蔵院しばられ地蔵



葛飾区広報課 ▲半田稲荷神社

泉井や多くの奉納された絵馬などは葛西区指定有形文化財となっています。

### 半田稲荷神社

創建は和銅4年（711年）とも言われ、千年を越す由緒ある神社であり、江戸名所図繪などにも見ることが出来ます。また、疱瘡（ほうそう）、麻疹（はしか）、安産の神として広く知られています。江戸時代中期、願人坊主という者が真っ赤な法衣を身につけ「半田稲荷大明神」と染め抜いた赤い幟を手に持ち「葛西・金町・半田の稲荷疱瘡も軽い、麻疹も軽い、運授安産御守護の神」と面白おかしく謡い踊りつつ江戸市中から全国を巡ったといわれています。このことは歌舞伎舞踊としても演じられています。

### 水元公園と小台溜



葛飾区広報課 ▲水元公園大橋

都内でただ一つの水郷の景観を持つ公園として、昭和40年4月1日に開園しました。

現在の面積は約82haで、園内には桜や花菖蒲、メタセコイヤの森やボラ並木等の四季折々の植物や、園内にある小台溜に生息する渡り鳥等、自然豊かな公園として形成されています。

小台溜は、今から約270年程前の享保14年（1729年）に江戸の町を洪水から守り水田を潤す水源（水元）として、旧古利根川（利根川の旧流路）に造られた遊水池でした。対岸は埼玉県立みさと公園で、現在小台溜は葛飾区管理の準用河川となっています。



葛飾区広報課 ▲南蔵院しばられ地蔵

した。前代未聞の事態に、奉行所の門をくぐり中まで行って行った江戸の野次馬たちを見た越前守は門を閉めさせ「奉行所の白州まで乱入するとは不届至極、その罰として反物の料金を申しつける」と言いました。慌てふためいた野次馬達は何とか反物を工面して奉行所へ持って行くと、その中から盗まれた反物が発見され大盗賊団がお縄となり、一件落着いたと言われている。

以来その地蔵は「しばられ地蔵」と呼ばれ、盗難除け、厄除け等、地蔵様に願掛けしながら縄を縛り、願いが叶えば縄を解く風習が続けられています。

## 松戸駅～水元公園

約6.0km

